

## てん末書

記録者職氏名

企画財政課

調整係

主任

竹 中 寿

### 1 日 時

平成28年7月20日(水) 13時30分 ~ 15時30分

### 2 会 場

上湧別コミュニティセンター 2階大会議室

### 3 会議及び用務

第4回 行政改革推進委員会

### 4 出席者

各委員：北村会長、高桑職務代理者、佐藤、野田、高橋、小林、森、菊地、松浦各委員  
(宮澤委員欠席)

町 　：松田住民税務課長、山本まちづくり推進課長  
阿部企画財政課長、星課長補佐、竹中主任  
(山田総務課長欠席)

### 5 結果要旨

#### 1. 開 会 (阿部企画財政課長)

#### 2. 会議成立確認 (阿部企画財政課長)

委員9名の出席があり、過半数を超えているため成立

#### 3. 会長あいさつ

(北村会長) お忙しい中ご出席をいただき厚くお礼申し上げます。これまで3回の会議が終了し、皆さんの奇譚のないご意見と、ご理解を賜りながら順調に進んでおりますことをお礼を申し上げます。本日から、皆さんから様々な意見を聞きながら会議を進行していきたいと考えておりますので、皆様が思っていること、考えていることを遠慮なく発言をしていただきまして、より良いまちづくりへの会議にしていきたいと思っておりますので、お願いをしながら挨拶と致します。

#### 4. 確認事項

##### (1) 会議録の確認について

修正はなし

## 5. 協議事項

### (1) 湧別町行政改革大綱について(前回の続き)

#### I. 協働と連携によるまちづくりの推進

(高橋委員) 地域コミュニティの支援の中で、自治会の運営の支援が出ていますが、自治会の運営の中で、問題点などを聞かせて下さい。

(北村会長) 問題としては、役員が高齢化しており、草刈りなどの作業が困難になっています。自治会の統合では、ある自治会において合併の意思を示し今後、近隣の自治会と地域づくり懇談会などを合同で行っていくようです。上富美では、老人クラブが富美と一緒にやっている事例もあります。

(高橋委員) 高齢化はどこの自治会でも押し寄せているので、当然、統合という話も出てくると思いますが、各自治会が動かないことには、行政主導でとはならないと思いますので、自主的な行動によって、決まっていくのではないかと思います。

(北村会長) 自治会の統合問題をテーマに昨年、自治会長の視察研修に芦別市に行きましたが、自治会の統合等の問題は難しいようです。

(森委員) 基本方針1については、この大綱の内容で良いのかなと思います。具体的な内容については、これから実施計画を協議するに当たって附帯意見をどう付けて、その部分を行政がどう具体化していくかということだと思うので、大綱についてはこれで良いと思います。地域コミュニティの支援についても支援のあり方を考えなくてはなりません。高齢化や人員不足などの問題をどうカバーできるか、背景にあわせた支援のあり方を当然行政で考えていかなければならないと思います。その具体的なアイデアをこの委員会で出すわけではないですよ。

(阿部企画財政課長) この委員会で出た意見を附帯意見として付して答申した場合、町は答申に基いてどう取り組んでいくかということです。

(森委員) これからの流れとしては、まずこの大綱について一通り議論して、次に実施計画書について審議をする。今行っているような具体的な協議は、実施計画書の審議の際に行った方がいいのでしょうか。

(阿部企画財政課長) 大綱でも実施計画書の時でもどちらの協議の際でも構いません。行政改革の観点から言えば、極端な話になりますが、自治会の統合に向けた協議についての話も可能となります。

(森委員) そこまで話をしても構わないのですか。

(阿部企画財政課長) あくまでも例として話をしましたが、前回、第1期の時も、学校統合の関係で意見を付しております。

(森委員) パブリックコメントについてですが、提供された資料では1件もありませんが、実際に実務をされている皆さんは、何故無いと思いますか。

(阿部企画財政課長) 提示している資料は、平成27年度の実績でその年度は1件もありませんでしたが、他の年度では、少ないですが意見があります。

(北村会長) 施設の使用料の関係では、何件かあったように聞いています。

(森委員) 町長への手紙というのは、無記名は駄目なルールなのでしょうか。

(星企画財政課長補佐) その通りです。

(森委員) その内容が非常に良い内容であっても匿名である限り取扱いはしないのですか。

(星企画財政課長補佐) 意見としては受けますが、回答はしないということです。

(森委員) 資料には、氏名未記載のため取扱いせずと書いてあるので、取扱いせずといことは、最初から無かったものにする扱いなのか、返事はしないが、参考にしていくということなのですか。

(松田住民税務課長) 返事はしていませんが、町長には内容について報告しています。無記名だと返事もできませんので、住所と氏名を記載してあるものに対して返答しているということです。

(森委員) 無記名では無責任なことにもなるし、中には誹謗中傷ということもあります。が、内容が良い場合、名前が出ることで尻込みしてしまう方もいると思います。その辺の観点ではどのようにしているのかなと思いました。

(野田委員) 地域スタッフ制度についてですが、町民と職員のつながりが持っていて良い制度かと思いますが、一部の地域の現状を見ると自治会によって活動に差があるため、一定の線引きがあっても良いような気もします。人手が足りないからスタッフに手伝いを依頼することはどうなのかと思います。

(山本まちづくり推進課長) 自治会によって活動に差があるのは事実ですが、役場からの情報提供や、自治会での問題の掘り起こしをスタッフ活動の主たる目的としています。一定の線引きをしてしまうと、自治会へ出向く機会も制限されますので、このような形と現在は進めている現状です。

(森委員) 漁組で言えば、各種漁業権部会で色々あり、その担当者によっても温度差があり不満も出ています。地域スタッフでも、地域によっても、スタッフによっても温度差があることが考えられますが、内部において研修のようなものは行っていますか。

(山本まちづくり推進課長) 年に一度、班長会議を実施しており、活動内容等の情報交換や問題点の共有を図っています。

(小林委員) スタッフの活動を見ていて、行事がないから呼ばないのか、スタッフの声掛けが足りないのか、自治会で活動が無いのであれば、コミュニティとして意味がないと思います。地域づくり懇談会もスタッフの活動になっているようですが、懇談会は、各課の課長も出席しており、スタッフが行くことに意味をなさないと思います。

(山本まちづくり推進課長) スタッフの活用については、毎年、自治会長会議で説明をしています。活動回数の少ない自治会もありますが、伺った際に町から情報を提供して来たり、地域から色々な意見を聞いたりしています。伺った意見等については、スピード感を持って解決できるようにしています。

(阿部企画財政課長) スタッフ制度については、旧湧別町時代から取り組んでいる制度で、合併後は、旧町ごとで温度差がありましたし、制度自体を理解してもらうこと

#### 4 (てん末書用紙)

についても時間を要しました。活動回数の差はありますが、情報提供することはもちろんのこと、一番の大きな目的として役場職員の顔を一人でも覚えてもらうということがあります。

(小林委員) 役場として自治会の行事の把握はしているのでしょうか。

(山本まちづくり推進課長) 総会資料をいただいております、把握しています。

(小林委員) 把握できているのであれば、どのような事業を実施しているのか各スタッフに情報を提供してスタッフの方から呼びかけるようなことをしても良いのではないのでしょうか。

(山本まちづくり推進課長) それぞれ総会等に参加した際に、呼びかけを行っています。

(北村会長) 大綱内の基本方針の説明文に自治会の合併や統合という文言が入っていませんが、その部分を明確にしなくても良いのでしょうか。

(菊地委員) 合併や統合は自治会が自ら判断することなので、地域の問題であるので、合併や統合となった場合には支援は当然必要なので、その程度に留めておけば良いと思います。

(北村会長) 基本方針1について、その他ご意見ありませんか。

～各委員より「なし」との声多数～

(阿部課長) 基本方針1について、附帯意見が無いということによろしいのでしょうか。

～各委員より「なし」との声多数～

## II. 時代に即した行政サービスの推進

### 【資料～主要事業の一覧から協議】

(佐藤委員) 主要事業の一覧の中に、町民の海外派遣事業や、国際交流交換留学事業、相互交流事業があり、高校の存続対策においても同様の予算が措置されています。詳細はわかりませんが、同じような事業であるならば、整理をした方が良いのではないのでしょうか、また、このような事業での効果は中々見づらいかと思いますが、その効果についてお伺いしたいと思います。

(山本まちづくり推進課長) 小・中学生に対しては、半額を支援しております。湧別高校の存続対策事業としては、教育委員会から湧別高校生に対して支援しているものです。

(北村会長) 最近の新聞でニュージーランドに行くというような報道がありましたが、期間はどれくらいですか。

(阿部企画財政課長) 交換留学については、来て3ヶ月、行って3ヶ月交流する、トータル6ヶ月間の交流ということになります。大人の海外派遣については、2種類あり、教育委員会の分とまちづくり推進課の分とがあります。まちづくり推進課の事業は、ニュージーランドとカナダに拘らずどこでも可としています。効果としては、近年、希望者がいない状況となっております。また、次年度以降、相互交流事業については、ニュージーランドとカナダと、交互に行ってはどうかとの考えを持って

います。

**(菊地委員)** 制度として必要だと思imasのでどの様な形であれ、続けていってほしいと思imas。

**(佐藤委員)** 指定管理者の部分ですが、上湧別の特養やデイサービスなどの福祉施設は町立でしたが、上湧別福祉会が譲渡を受けて現在は民間で行っています。湧別でも過去にも調査をした経過があったと認識していますが、上湧別福祉会のように同じ取扱いにならないのでしょうか。国庫補助金が入っているかと思うので、制度として譲渡が可能であれば、シビアに行っていくべきだと思imas。

**(阿部企画財政課長)** 補助金の関係があるかと思imasので、詳細については、調査をしなくてはなりません。意見として受けておきます。

**(森委員)** 検診の助成制度として、脳ドックの助成制度があると思imasが、何故管内の4つの病院に限定されているのでしょうか。今回、脳ドックを受診しようとしたが、半年待ちとなっております。補助金を出すのであれば、旭川でも札幌でも良いのではないかとシンプルに思imas。何か管内の4つの病院と料金的な提携などを行っているのでしょうか。

**(阿部企画財政課長)** 病院と契約を交わしていると思imas。

**(森委員)** 町民の健康福祉の増進を謳うのであれば、そのような括りは必要ないと思imas。領収書や証明書などを持ってそれを提出すれば補助金として定額を後日支出する方法でも良いのではないのでしょうか。契約している病院とは、料金を支払う際に差し引きされて受診料が請求されることで良いと思imasが、別にそこに拘らず定額の助成制度が他にあっても良いと思imas。地域振興が目的としてあれば別ですが、検診機会を増やすということであれば何か問題があるのかなと感じます。湧別町は、医療過疎の地域であることから、検診など受けやすい制度設計をしていくべきだと思imas。予防や検診などによって、医療費の抑制につながると思imas。

**(北村会長)** 出産に関して地域で出ている話では、これからの湧別町を考える時に、産婦人科を整備してそこに来る先生を探してはどうなのかというような話が出ています。

**(高桑職務代理者)** 人口の減少を抑えていくためには、医療関係はもちろんのこと、雇用対策も重要です。技能検定の関係をもう少し手厚くして、地元の企業で活躍してもらうような手厚い支援が必要ではないかと思imas。

**(小林委員)** チューリップの球根はその年々で、すべて購入しているのでしょうか。

**(星企画財政課長補佐)** 町の圃場で取れたもので使えるものは使っていますが、足りない場合やその他に新しい品種などを購入しています。

**(小林委員)** フェア開催中、花が咲いていない場合に、J R Yの映像施設を活用するなどして来客者を湧別町へとどませる方策も必要ではないかと思imas。それからふるさと納税に関して湧別町の町民がどれくらい他の町村に寄付を納めているのでしょうか。

## 6 (てん末書用紙)

(松田住民税務課長) 10名にも満たないと思います。

(小林委員) 湧別町では、物販が目的ではないと町の考えがあるようですが、他の町村でPRをしていて町によっては何十億もの寄付を得ている町村もあります。湧別町にも立派な産物があるので思い切ったPRをしてはどうかと思います。その受けた寄付をもって事業が展開できるのではないかと思います。

(阿部企画財政課長) 返礼品が目的ではないと町長も言っていますが、道内では、億単位の寄付を受けている上士幌町などがあり、議会でも町として取り組んではどうかとの意見もありますので、現在、検討しています。

(小林委員) ホタテや牡蠣、たまねぎや湧別牛など物は色々あるので、町としてPRをする良い機会だと思います。

(阿部企画財政課長) 物は豊富にあるかと思いますが、問題は体制で行政だけで取り掛かることにはならないので、町内の産業団体や商工会などとも詰めていかなければならない内容と考えます。

(高桑職務代理者) 上士幌町が保育所や幼稚園の保育料にふるさと納税を充てて無料にしているところを見ると羨ましいなと思います。

(菊地委員) 税金の取り合いのような形になっていて本来の趣旨からそれているので、どうなのかなと思います。

(森委員) 観光人口をどう捕まえるかということが重要で、外部の人を意識したイベントなど今後の検討材料になるのかなと思います。

(北村会長) 連休中の観光バスは、花が咲いていなく行く場所がないため、JRの映像施設等を活用する工夫も良いかもしれません。

(高桑職務代理者) 芭露小学校は、一度改築してから、移転するということですか。

(阿部企画財政課長) 芭露小学校は危険校舎という扱いにしていますので、湖陵中学校の横に併置校として設置するもので、ひとつの学校の中に芭露小学校と湖陵中学校が存在することになります。

### 【資料～町有建物種別一覧から協議】

(北村会長) 会館と老人の家や寿の家の管理が出来なくなってきたというような問題も出ており、各自治会に建物がひとつで良いのではないかという話が自治会長の中では出てきています。

### 【資料～指定管理者制度導入施設一覧から協議】

(北村会長) 平成29年度から変更となる施設は何箇所ですか。

(阿部企画財政課長) 3箇所となっています。

※大綱の中身の協議については、次回に継続して実施する。また、今回の議論の内容について箇条書きにて提示し、協議を深めることとした。

## 6. その他

(てん末書用紙)

7

次回の会議の開催 平成28年8月29日(月) 13時30分～  
上湧別コミュニティセンター 2階大会議室

## 7. 閉 会

終了(15時30分)